

おあしす



特定医療法人 南山会

親切 安心 信頼

峡西病院・峡西老人保健センター・きづな
・アルプス訪問看護ステーション

2023 11

第37巻11号
(通巻435号)



暑さも和らいできたので夏のあいだ勢いよく枝を伸ばした木々の剪定をしようと庭に出たら、ジャノヒゲの小さな青い実を見つけた。ジャノヒゲは常緑の多年草で、地際から長細い葉を地面を覆うようにたくさん出し、しかもどんどん増えるので、グランドカバーとして重宝だ。寒さ暑さにも強いため、手間がかからず雑草防止効果を期待して植えたものだ。濃い緑の中にきりっと映えるブルーの果実は珍しく、この実を食べるために鳥たちが遊びに来る。この実は雪の中でもなかなか落ちることがなく、私は花のない正月には仏壇に供えることにしている。



—— 峡西病院の理念 ——

「その人らしさをともに創造する」

人生の新しい目的や意味を一緒に考え、
より良い人生を伴走していく

参加報告

第10回企業と峡西病院との
連携を考える研修会

去る10月3日、当院有朋館2階大ホールにて開催された、第10回企業と峡西病院との連携を考える研修会に参加しました。

当研修会は、当院リハビリテーションセンターと、地域連携室とが中心となり、平成27年に初めて開催されました。今回で10回目の開催です。法人内では、「企業連携研修会」と呼ばれています。

当研修会の目的は、企業スタッフと病院スタッフとの間に顔が見える関係を築き、スムーズな復職と再休職予防とに繋がる連携を深めることです。当院リハビリテーションセンターにて、リワーク（復職支援）を利用されている方への支援の質向上を目指し、年に1〜2回のペースで定期的開催しています。

これまでの研修会では、「リワーク紹介」「リカバリーについて」「復職に関するQ&A」「ナビゲーションブック」「リワークプログラム体験」といったテーマを取り扱ってきました。今回の研修会では、第1部として、「企業と医療の橋渡し」というテーマについて、当院の平田卓志医師に話をしてもらいました。その後、第2部として、企業スタッフ、医師、リワークスタッフ、それぞれの立場から率直に意見交

換をしました。

第1部では、現場での本音が、平田医師の歯切れよい語り口で説明され、盛りだくさんな内容に頷くことばかりでした。第2部では、企業スタッフが抱える実際の困り感や医療に期待すること、医療としてできること等を共有できました。

このような顔の見える対話により、相談するには敷居が高いと思われがちな精神科医療への繋がりが深まり、早い段階で復職に向けた情報が共有できる機会になれば、と感じました。

当研修会は、役場等を含め、社員・職員の復職支援に携わるスタッフであれば、どなたでも参加が可能です。これまでに、産業医、保健師、看護師等の産業保健スタッフ、人事労務スタッフといった方々が参加されました。今後も定期的に開催する予定ですので、ぜひご参加ください。

研修会を通じて、企業と峡西病院との連携が深まることで、利用者の円滑な復職・再休職予防に繋がりが、ひいては利用者のパーソナリリカバリーが実現されることを心から願っています。

外来グループ 石川 純子
心理グループ 成田 正樹

外修
時間
時研接遇について
アンケート結果と課題

9月22日、法人内で時間外研修が開催されました。先だって法人職員を対象に行われた「接遇」に関するアンケート結果について

です。【接遇】という言葉は、接客業や対人関係の仕事をしていない方には馴染みの薄い言葉かもしれませんが、辞書で引いてみると、「来客などに対してもてなすこと。また、接待、応対すること」と説明

されています。目の前の相手に対して、どのような態度で接するのがよいか。そういった問題意識からのアンケートだと思われま

す。アンケート結果からは、患者さん、利用者さん、そして職員間での【接遇】について「気になること」や「こうしていきたいと思うこと」など多くの意見が寄せられています。

業務を行うにあたって【接遇】は不可欠なものです。職員それぞれが意識を持って業務に臨んでいると思えますが、日々の忙殺の中で、望ましい接遇が行えているか？

こうした研修を受けることにより、普段の自らの接遇を省みるきっかけとなります。

距離が近くなってしまうが故のなれ合い、業務に追われ余裕のなさから生じる苛立ち、など……今

回のアンケート結果により、他の職員の想いや葛藤が少し垣間見られた気がしました。

個人的には、現在の部署に長く在籍しているため、なれ合いになっているかもしれないと気づきを与えられました。

良好な関係は、円滑な業務に欠かせないと同時に、なれ合いになるのも不適切なことと気づかされました。

上手な距離の取り方、せめて職場にいる間だけでも、他者が見て不快に感じることはないよう、一線を引いて節度ある接し方をすべきだと感じました。

さらに言えば、職場、という枠組みの中だけでなく、どんな立場の時でも、相手の方を尊重できたら……。それは誰にとつても安心して過ごすことのできる、あたたかな社会となっているかもしれません。南山会が、その発信源となるよう努力していきたいと思

いました。

その為には、職員一人一人が、こころに余裕を持って業務にあたることも必要かもしれません。日々の自分の気持ちにも、人と接する態度にも、十分に気を払って過ご

していきたいと思いました。

令和4年度 目標管理発表会



目的

老健1階2階の看護業務の中で、排泄と薬業務について統一する。

目標設定の理由

老健内の異動や応援対応などを通して、同じ施設内なのに各棟で業務に違いがあることに気づき、老健1階2階の看護業務の統一をしようと思いい、排泄と薬について取り組みました。

排泄

今までは毎月1回使用した分をカウンントして請求していたが、カウン

トミスなどがありました。どうしたらミスを防ぐ事が出来るか看護内で検討を行ない、使用したら請求するという事になりました。そのため、その後はカウントミスもなく行えています。改めてマニュアルを作成し、1階と2階で統一しました。

また、排泄マニュアルを作成した際に、日々使用している排泄チェック表が1階と2階で違うという事に気づき、その為に排泄チェック表を統一しました。

排便の量と形状はブリストルスケールで統一しました。排泄チェック表の中に衣類の項目を設け、自宅洗濯の利用者の欄に自宅と記載する事で、トイレ誘導時、オムツ交換時に更衣した際に分かりやすく自宅洗濯の利用者の服を業者に出してしまう事故も減少しました。

薬業務

持参薬、定期薬、臨時薬の取り扱い手順セット方法のマニュアルを見

直しました。薬セットでの事故が多かったのでセット方法を再度見直しマニュアルを作成しました。

また、配薬時の誤投薬の事故があり、配薬(外用、内服)手順も見直し、配薬手順を再度細かく見直し、マニュアルを作成しました。また、各階の配薬車の両側面にいつでも確認出来るように貼りました。配役時の事故も多く、配薬手順で名前や時間などをしっかり確認が出来ていなかったこともあり、手順を統一したことで事故が減りました。

結果

・排泄業務

ほのぼの(ケア記録等の電子入力システム)導入後に未排便者のカウンントをする際、1階はほのぼのの機能を活用していましたが、2階は機能を活用せずに今までと同じ方法で業務を行っていました。排泄の入力は、夜勤での業務になるため、介護職員の意見も取り入れながら検討し、ほのぼのの機能の活用で未排便者のカウンントをすることに統一しました。また、それと同時に排泄チェック表も各フロアで様式が違っていた為、職員の意見を聞きながら統一しました。

1階職員と2階職員で両方の排泄業務を確認、検討し、ほのぼのの機能を活用した1階での業務がやりやすいとの意見が多く、2階の排泄業務を1階の排泄業務に統一することで業務統一が早く行えました。また、看護だけでなく介護にも意見を聞いてから実施する事でスムーズに開始することが出来ました。

・薬業務

配薬方法と定期薬、臨時薬、持参薬セット方法の見直しを行ないました。事故予防委員会と協力し、配薬チェックを行なうことで配薬について改めて意識することが出来ました。

まとめ

今後も老健内の看護、介護の業務の違いがあれば、それらを見つけ、業務統一が出来るようにしていきたいです。



風船バレー

10月5日(木)にリスタート病棟でネットを使用し、2チームに分かれて風船バレーを行いました。準備体操のあと風船がコートに入ると皆さん手を伸ばして相手コートに打ち返していました。試合形式にしたのですが、皆さん攻撃するような打ち方ではなく、相手が取りやすいように優しく打ち返していました。ルールで「座って行う」とありますが、熱中してしまうと席から立ち上がって風船を打ち返そうとしている姿も見られました。その時はスタッフの声掛けが入り、一旦落ち着いてから試合が再開しました。皆さん体を動かし、楽しく参加していました。

OT・PT だより

大正琴・ピアノコンサート

9月28日(木)に音楽鑑賞会が行われました。午前は早乙女先生による大正琴演奏会でした。11曲のプログラムは、唱歌、懐メロ、昭和歌謡と、幅広い年齢層の患者様が楽しめる曲でした。早乙女先生のMCに合わせ、じっくり大正琴の演奏を聴いたり、演奏に合わせて手拍子しながら歌ったりと、とても楽しく過ごしました。アンコールの武田節も盛り上がり、会場の患者様からは「大正琴をやっていた母を思い出すような素敵な音色で、いい時間を過ごせました。」との感想もいただきました。午後からは、OTホールに入室できない2つの病棟で大正琴演奏会の録画映像の鑑賞を行い、OTホールでは、西川先生によるピアノコンサートが開催されました。会場の皆さんに、聴きたい曲をリクエストしてもらい、スタッフが楽譜を探し、西川先生にピアノ演奏してもらいました。「ハナミズキ」等は演奏に聴き入り、歌詞本のある「川の流れるように」等は演奏に合わせて歌いと、全15曲を楽しみました。




リハビリテーションセンターだより

Q & A

Q プログラムは全てリハビリテーションセンターの職員が司会・進行をしているんですか？

A リハビリテーションセンターのプログラムはセンターの職員だけでなく、他の部署の専門職の職員や、外部講師をお招きして開催するものもあります。9月は外部講師として、タイ人の先生をお招きし代表的なタイ料理の一つ、ガパオライスを利用者さんと一緒に作りました。調味料2つで簡単に、とても美味しく出来ました。プログラムでは症状のコントロールや生活の手助けになるものだけでなく、様々な文化や価値観に触れられるものも提供しています。

プログラム紹介

「スタートミーティング・フィードバックミーティング」

【活動曜日】 毎日 **【活動場所】** 全ホームルーム

【活動内容】
 リハビリテーションセンターでは、毎日2回、利用されている方々と顔合わせを行う時間があります。それがスタートミーティングとフィードバックミーティングです。当日の予定やプログラム参加者の確認、リハビリテーションセンターからのお知らせ、一日のふりかえりなどを共有しております。利用されている方からご意見やご要望をうかがうことができ「活動による成果の共有」と「センターとセンターにかかわる方々の成長を支える」とも大切な時間と捉えております。集団が苦手な方には緊張を伴う場面であるという声も頂いておりますが、さまざまな考えや気持ちを理解するための貴重な10分間×2回でもあります。毎日の経験の積み重ねとその意義を感じられる活動です。

興味のある方、見学や利用をお考えの方は、スタッフまで気軽にご相談ください。 ☎055-282-2151

*ホームページをぜひ、ご覧ください。
関西病院 リハビリのご案内 検索

ろうけんTimes

TOPICS

今月の

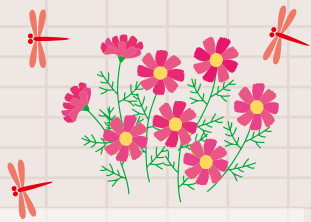


3F
通所
リハビリ



午後より敬老会が開かれました。職員がご利用者様一人ひとりに感謝の意を込めると共に、これからも健康で長生きをして頂きたいと思いを込めて、寸劇とダンスを披露しました。いつもの職員ではない新たな一面が見える時間を楽しまれた様子です。

2F
認知症
専門棟



提灯の折り方で作成したトトロと中トトロ。その下には、コスモスが広がり、赤とんぼまで飛んでいる。午後から、リハビリ（手指運動）の一環として、制作グループが頑張りました。



1F
一般棟



園芸サークルのメンバーが、立派な野菜が収穫出来ますようにと、中庭で育てている人参などの野菜を間引いている様子です。また、収穫した野菜は、料理サークルのメンバーが美味しく調理し、皆さんに振舞います。それぞれの役割を果たしながら、毎日頑張っています。



* 峡西老健のホームページもご覧ください。

峡西老健 検索



峡西老健の理念

優 優しさ 友 友愛 結 人と人

～あなたに優しく、あなたを思い、あなたと結ぶ～

本の紹介コーナー

今回は、スマイルさんにおすすめの本を聞きました！

本の題名：「どうせ自分なんて」と思う君に、知っておいてほしいこと

(作者：名越康文〔監修〕・加藤隆行〔文〕／出版社：小学館／出版年月日：2023年8月)

●読んだきっかけは？

最近子どもと一緒に図書館に行く機会が増え、パッと目に入ったのがこの本でした。最近子どもが学校に行くのを渋っていたり、なんとなく自信が持てない事が増えていました。何か対処ができればいいなと思い読んでみました。

●おすすめのポイントは？

子ども向けに書かれた本ですが、自分を肯定できない部分が多い私にも刺さる本でした。ネガティブな感情を持ったり、行動してしまう理由がよくわかるように、シンプルに明快にやさしい文章で説明してくれています。「怒り」や「緊張」についても、その感情の意味や扱い方についても書かれています。一般的に、それらは「ダメなもの」と思われがちですが、そうではないということが書かれており、その取扱い方まで書かれていて、とても実践的な本だと感じました。すべてにフリガナもふってあり、小学生でも読める本になっています。日々の忙しく過ぎる時間の中で、子どもにこんな声掛けが出来たらいいなと思えるような本でした。

患者の権利と責任

あなたには、「その人らしさをともに創造する」の理念の下、治療の主体者として、以下の権利と責任があります。

1. 必要かつ十分な医療サービスを、あなたにふさわしいやり方でいつでも受ける権利
2. 治療の主体者として、医療者と協力して病気を治すことに参加する責任
3. 病名・病状・予後・診療計画・薬の名前や作用・副作用、必要な費用などについて、納得できるまで説明を受ける権利
4. 個人の秘密が守られる権利および私的なことに干渉されない権利
5. 自分の患者としての行動に適用される病院の規定・規則を知る権利とそれを守る責任
6. 自分が受けた医療等に関する費用の請求を点検し、説明を受ける権利と、決められた期限までに請求された医療費等を支払う責任
7. すべての患者さんが適切な医療を受けられるようにするため、他の患者さんの治療や病院職員による医療提供に支障を与えないよう配慮する責任
8. 治療上必要な必要最小限の行動の制限を受けることがありますが、「精神保健及び精神障害者福祉に関する法律」に定められた、面会・通信の自由、退院請求を行う権利及び治療・対応に対する不服申立てをする権利と、これらの請求や申立てをしたことによって不利に扱われない権利

峡西病院の建物が論語に由来する名称をあてられているのは興味深い。論語は孔子の語録を弟子が集めたものだが、儒教の経典の一つで日本人の思考にも大きな影響を与えている。

孔子が生きた時代に世界では釈迦やソクラテスも活躍しており、このような大思想家が同時期に生まれたのは偶然とは思えない。世の中に大きな変化があり、希望や不安が渦巻く中で人々が様々な考えを求めたの

万華鏡

ではないか。孔子の言葉はそうした人々の心にこたえる形で生まれたので、精神医学上もヒントに満ちている。例えば「知之為知之、不知為不知、是知也」という言葉がある。意味としては「知ったことを知ったこととし、知らないことを知らないこととする。これが知るといふことだ」という一見当たり前の内容となる。しかし考えてみれば「知る」ということは複雑な段階があつて、「よく知る」と「あいまいに知る」ことに自覚的になることは意外と難しい。ところが精神疾患になると、この「知」の部分が強く侵される。自分の状態をうまく自覚することが難しくなったり、あらゆる悪いこと（あるいは良いこと）を考え過ぎたりして適切な判断が難しくなる。さらに自分の境界

が不明確となり人の考えが自分の考えになったり、本来知りえないことを「知った」と主張するような状態も出てくる。逆に「知之為知之、不知為不知」という状態に近づいてくれば治ってきていると考えるわけである。しかし同時に孔子は「知之者不如好之者、好之者不如樂之者」とも述べている。意味としては「知っているのはそれが好きなのにはかなわないし、好きなのはそれを楽しむのにはかなわない」となる。精神疾患も確かに治療の段階があり、最終的に「楽しむ」ことを目標とする場合もあるが、しかし果たして自分自身は楽しんでいられるだろうか。孔子にゆかりのある（？）建物の中で「楽しむ」方法を模索したいところである。

耕子

(※)

私の性格からか、何か一つを追及する事は苦手です。しかし何事も経験が大事という意識はあるので趣味は幅広くあります。写真撮る事、絵を描く事、お菓子作りやパン作り、ハンドメイドや編み物、パワースポット巡りや園芸…挙げたらキリがないくらい、スポーツ以外は広く浅く、多くの事に手を付けてきました。唯一、絵を描く事は幼少期から好きで似顔絵を描く事は今でも好きです。(ただ、自画像は苦手です…)

今回おあしすの依頼が来たので、OT・PTグループの皆さんを描いてみました。上手く描けていますか？

OT・PTグループ 相川

私の趣味



こちら編集室

めっきり寒くなって秋めいてきた今日この頃。文化の秋、食欲の秋、等々色々な秋がありますが、今の私はスポーツの秋。バレーボールの試合を興奮しながら見えています。

推しメンも見つけてしまつて、さらに興奮しています。その名も「高橋藍」カッコよすぎて震えます。高橋藍に注目したのは、あるプレーがきっかけでした。バレーボール男子・W杯日本対フィンランド戦。第2セットで見せた高橋藍のネットに背を向けるように、後ろ向きでボールを押し込んで得点を奪ったシーン。その時、私の心臓の鼓動はすごく大きく聞こえ、今まで感じたことのないような拍動を感じ、時間がスローに動き出す、そんな衝撃を受けました。

これまでの男子バレーの印象は、アタックですぐに点が決まってしまうことが多く、女子バレーの方が面白いと感じていました。しかし、今の男子は違う！色々な技を繰り出し、なんとも華麗な、芸術的な試合をしています。今後も目が離せません。

今月の予定 11月

- 8日 診療会議
- 14日 行動制限最小化委員会
事故予防研究会
- 22日 運営会議
感染対策・医療安全委員会

今月の一枚



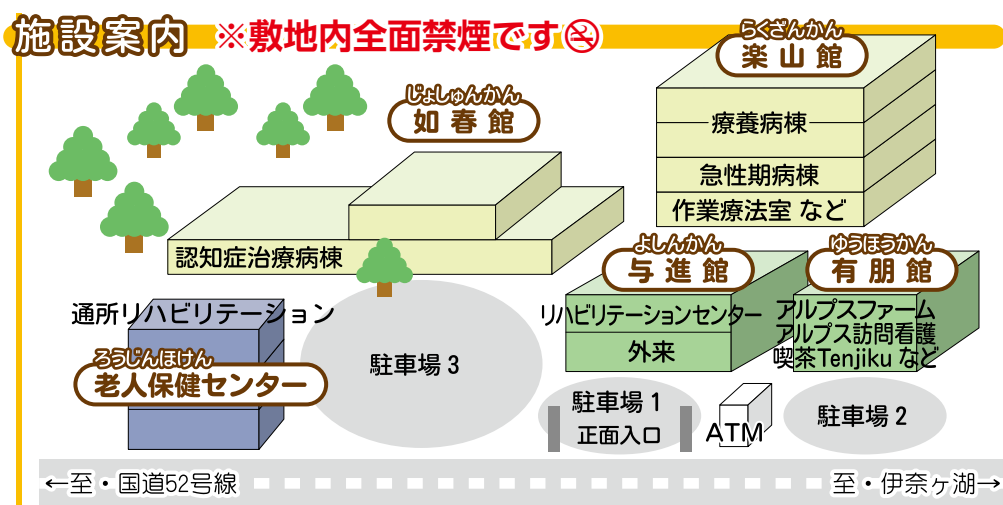
庭に咲いているコスモス(の幹)です。花が咲く前、夏の終わりに強く雨が降った際に倒れてしまい、幹の部分が大きく縦に裂けてしまいました。元気に美しい花を咲かせてくれました。植物の生命力には感心するばかりです。

おあしす広場

今月もおあしすに素敵な作品が寄せられました。

柿食えば種がじやまする口の中	石坂 克巳
いわし雲歩行器使い病院まで	今福 和人
稲守り疲れ果てたるかかしか	カナメ
紅葉の櫛形山での母想う	恵風
肩に荷の重たさしみる秋の雨	塚原 光明
雨ふりて野分のあとのみだれ草	保坂五十鈴
晴天や踏む楽しみ霜柱	谷戸 杏樹
墓参り水をまく腕桶柄杓	渡辺 あき
たくさん泣いたからたくさん笑おうよ	渡辺奈美子

※掲載は五十音順です。



- ### 交通案内
- JR中央線
甲府駅より車で40分
 - JR身延線
東花輪駅より車で15分
 - 中央高速
甲府昭和ICより車で30分
 - 中部横断道
南アルプスICより車で5分
 - 山交バス
甲府-南アルプス市甲西支所行き (十五所経由) 鯉沢営業所行き (西野経由) 鯉沢営業所行き 小笠原下仲町バス停徒歩5分